

選 定 理 由

採択地区名【尾張東部】

種 目 名	国語	採択替えの有無	有 ・ (無)
発 行 者 名	光村図書	従来の発行者名	光村図書

1 学習指導要領との関連

- 対話的な学びのイメージがつかみやすく、主体的な学びを深めていくことができ、伝え合う力を高めることができるため、思考力や想像力を養うことができる。新しい評価の観点にも対応しており、学習指導要領の趣旨をきちんと反映している。

2 「あいちの教育の基本理念」との関連

- 生き方について、さまざまな人の考えに触れられる教材が取り入れられている。「あいちの人間像」である「自分を生かす」「世界にはばたく」に合致するものである。

3 内容

(1) 内容の選択

思考を表す表現や、表・マッピング等の思考ツールが活用できるように工夫されている。また、「情報」の項目を設け、重要なポイントを端的にまとめており、思考力・判断力・表現力等の育成を図っている。さらに、見開きページで学習活動が一覧できるようにしてあり、学習の見通しがもてる工夫がされている。

(2) 内容の程度

「読むこと」においては、読みやすい書き下ろしの作品をどの学年でも採用し、児童の発達段階をよく考慮した内容となっている。学習活動に思考力を育成するための教材を系統的に配置しており、実生活や実社会と関連づけやすい。また、書く活動のために巻末に「言葉の宝箱」があり、語彙の獲得に有効な内容となっている。どの学年の課題も「主体的・対話的で深い学び」を意識した編集で、発展的な学習に結びつけやすい内容となっている。

(3) 内容の構成

単元の構成は、学習目標や計画が明確に示され、教科書の内容とともに計画が進んでいくよう配慮されている。各事項とも、系統・配列・分量は適切であり、2年生以上では、「情報の扱い方に関する事項」をわかりやすく教材化している。各領域の系統・配列・分量も適切で、どの領域の学習であるか児童が意識しやすいように、単元の最初のページは、各領域の見出しがつけられている。言語活動では、学年に応じて主体的に取り組むことができるよう工夫されている。また、読書指導においては教材と関連した図書に興味をもたせるような配慮がされている。

4 表記・表現及び使用上の便宜等

- (1) 単元の目標と学習のめあてが記載されており、学ぶことが具体的にわかる。
- (2) 各単元の学習のまとめで「とらえよう」「ふかめよう」「まとめよう」「ひろげよう」と深い学びにつながるような設定になっている。
- (3) 重要語句が絵や図でわかりやすく説明してある。難しい語句・文章にはQRコードがついて、読み取ると画像や文章の朗読が表示される。

5 印刷・造本等

- (1) 印刷は、発色が美しく、低学年にインパクトがある。また、写真が多用され、鮮明で美しい。
- (2) 文字は特別な教科書体が使用され、読みやすく、書き文字に近いので、正しい字形を意識させることができる。